

# よしか

特集 アンケート

吉高生が本音で語る

私たちの町と「初めての一票」

つなぐ、  
一本の桜。

- |               |      |                   |       |
|---------------|------|-------------------|-------|
| ● 第3回定例会・同意案件 | 2・3  | ● 一般質問            | 11～14 |
| ● 主な質疑・討論 Q&A | 4・5  | ● 発議              | 14    |
| ● 全員協議会       | 6・7  | ● 吉高生が本音で語る！      | 15    |
| ● 議案の議決結果表    | 8    | ● 視察研修・編集後記・今月の表紙 | 16    |
| ● 議会へのご意見     | 9・10 |                   |       |

# 第1回定例会

〈令和8年3月6日～3月24日の19日間〉

令和8年度一般会計当初予算 (昨年比 10.8%減)

80億5,633万4千円 【可決】

## 令和8年度当初予算の特徴

令和8年度一般会計当初予算の規模は、80億5,633万4千円で昨年度と比較すると9億7,653万4千円(▲10.8%)の減少となった。

主な歳入予算として、歳入全体の50.6%を占める地方交付税は、前年比の1億2,000万円増加を見込んでいる。自主財源の割合は歳入の24.7%であるが、うち繰入金で基金取り崩しを含め9億8,000万円となり、歳入の12.2%を占めている。

歳出予算の内訳は、昨年度と比較すると土木費、災害復旧費、衛生費、総務費等を削減した。性質別歳出の状況は、公債費、積立金が増加し、補助費、繰出金等が減少した。

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ・普通建設事業費           | 5億7,054万7千円 |
| ・介護医療院(よしか病院)施設管理費 | 2億7,300万円   |
| ・子ども・子育て支援事業費      | 3億6,700万円   |

令和7年度の※繰越明許費は、19事業で13億790万円の内、6億6,590万円の繰越し

※繰越明許費とは翌年度に持ち越して使える予算



町道沢田線改修工事ほか7路線  
5,463万円



森師研修員育成事業費  
3,491万2千円

同意案件

監査委員任命同意

そうないまさてる

宗内 正照 氏



任期は令和8年4月1日より令和12年3月31日までの4年間

全員賛成で

同意されました

主な事業



「とびのこ苑」 照明器具 LED 化設備工事  
1,421 万 2 千円



旧蔵木中学校用途変更に係る設計委託料  
801 万 9 千円



朝倉小学校改修に伴う設計委託料  
607 万 2 千円



特定地域づくり事業推進補助金  
1,092 万円

# 3月定例会 主な質疑と討論 Q&A

## 令和8年度一般会計

菊次議員

Q. 80億円の予算の内10億円を基金から取り崩している。

財政調整基金等の取り崩し、繰り入れについて基準をもうけているか。

総務課長

A. 明確には定めていない。

三浦議員

Q. よしか病院の基金積立金に、補助金を5%カットしたものを充てているが、住民サービス、生活面、住民企業の利益を削減する形になるのでは。

町長

A. 補助金は町の持ち出し部分である。

一般財源の5%カットするもので、特定財源が入る補助金には手をつけない。



吉賀町福祉センター

### 《食の自立支援事業》

藤升議員

Q. 食の自立支援事業の現状は

保健福祉課長

A. 社協の調理場では、食品衛生法上難しくなっている。

澄川議員

Q. 民間への委託後、食品衛生法上の問題が発生した場合の責任は。

保健福祉課長

A. 基本的には指導等及び責任の所在は、町が負うことになると考えている。

### 《議案第31号》

令和7年度吉賀町  
一般会計補正予算

村上議員

Q. 企業版ふるさと納税の企業名は公表できるか。

町長

A. 株式会社ワールド測量設計事務所である。

山下議員

Q. 吉賀町低所得世帯緊急支援給付金について、なぜこの時期か。

保健福祉課長

A. なるべく早期に住民に支給するように県から指示を受けている。



高津川てらす

# 3月定例会 主な質疑と討論 Q&A

## 《議案第6号》

令和7年度一般会計補正予算

山下議員

Q. 『繰越明許費』が多く、事業費と同額を繰り越すものもあるがその理由は。

町長及び各課長

A. 物価高騰対策事業などで期間が不足、国の制度変更や仕様変更への対応、システム改修、資材不足や調整の遅れなどで、年度内の完了が困難となった。

反対討論

庭田議員

『繰越明許費』が事業費の半数近くになることに加え、補正で計上した予算まで繰り越している。

事業目的・事業計画を明確にし、検討、協議したうえで裏付けを持った予算立てをするべきである。



柿木第二  
放課後児童クラブ

## 《議案第14号》

放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

【柿木放課後児童クラブ】

菊次議員

Q. 安全性の確保は、どのように考えているのか。

保健福祉課長

A. 中学校の校庭を移動することを想定している。

今後、学校で実施できないか協議していきたい。

反対討論

庭田議員

公共施設の活用を優先するべきである。

## 《議案第25号》

吉賀町国民健康保険事業特別会計予算

反対討論

藤升議員

年金生活者への負担増や徴収方法に問題がある。

## 《議案第26号》

吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算

反対討論

藤升議員

年金生活者への負担増や徴収方法に問題がある。



# 町の基盤を支える課題 体制と持続性を問う

## 第1回全員協議会(2月10日)

### ▶医療体制 ～「よしか病院」及び「よしか介護医療院」の状況～

◎医師・看護師不足により、診療体制の維持が課題となっている。特に小児科の縮小や外来のあり方について懸念が示された。

#### 藤升議員

小児科、循環器科など、専門性を高めることに対する取り組みは？

#### 医療対策課長

総合診療科は幅広く診察できる特徴があり、小児科においても、ほとんどの医師が診察できる技能を持っている。

### ▶学校給食 ～学校給食調理場整備基本構想～

◎給食施設の老朽化や人手不足が指摘され、今後の運営体制について、安全性と持続性の両立に向けた再編も議論された。

#### 村上議員

七日市共同調理場の機能を六日市共同調理場に移すとなると、対応できる施設なのか。

#### 教育委員会主任

調理数自体は可能であるが、施設の改修や設備の増強は必要である。



七日市共同調理場

## 第2回全員協議会(2月25日)

### ▶農業担い手の確保

#### ～地域おこし協力隊制度を活用した農業担い手育成事業～

◎担い手の高齢化や後継者不足が課題となっている。新規就農者の確保や経営支援の必要性が示され、今後の農業の維持に向けた支援のあり方について説明が行われた。

#### 三浦議員

大規模農業を目指すといった考えが産業課にはあるのか。

#### 産業課主任

認定新規就農者になることで、活用できる国の事業を活用して、途切れない支援をしていく。認定期間5年以降は認定農業者として専業農家で営農を続けられるようサポートを行う。

### ▶デイサービスの廃止方針 ～七日市デイサービスセンターの廃止～

◎吉賀町社会福祉協議会において、利用状況や運営面を踏まえた廃止方針が示された。今後の福祉サービスの提供体制について説明が行われた。

#### 池下議員

七日市デイサービスを廃止し、柿木デイサービスと六日市デイサービスへ分けることで、赤字が改善されるのか。

#### 保健福祉課長

現在、柿木デイサービスの稼働が50%前後。七日市を廃止し集約することで改善を見込んでいる。

## ▶吉賀町有機農産物独自認証基準

◎消費者への信頼性・ブランド力の向上などを目的として町独自の認証基準が制定された。

### 庭田議員

トラブルが生じた時の責任は認証した町が負うのか。

### 産業課長

町がすべての責任を負うものではない。有機JASに準用したような対応を考えている。町の信用に関わることなので、そういったことがおこらないように、技術研修や残留農薬検査等を徹底して行いたいと考えている。



認定シールの表示

## 旧蔵木中改修 住民説明を前提に判断へ

第2回全員協議会(2月25日)・第3回全員協議会(3月13日)

### ▶旧蔵木中学校施設の改修工事

◎旧蔵木中学校施設の改修については、説明のあり方や進め方に対する指摘が相次ぎ、議論が集中した。教育委員会は地域との再協議を行い住民説明を前提に計画を進める考えが示された。

#### 経緯

前回の全員協議会での説明に対し、地域との協議不足や進め方への疑問が示されたほか、新聞報道もあり、住民からの問い合わせが相次いだことから、改めて説明の場が設けられた。

#### 主な論点

議員からは、地域の意見を十分に反映すべきではないか、予算が先行しているのではないか、進め方の順序が逆ではないか、など計画の進め方に対する指摘が相次いだ。

#### 教育委員会の考え

教育委員会は、これまでの地域からの要望を踏まえ、改めて地域と協議を行い、利活用の内容や進め方について再確認する必要があるとの認識を示した。地域の意見によっては計画の見直しもあり得るとし、柔軟に対応する考えが示された。

#### 今後の進め方

地域住民の意見を踏まえたうえで最終的な判断を行うとし、住民理解が得られない場合は予算の執行をしない考えが示され、教育委員会の慎重な対応が求められる状況となっている。



旧蔵木中学校

#### まとめ

旧蔵木中学校の改修をめぐる議論は、施設整備にとどまらず地域との合意形成や行政の進め方のあり方を問うものとなった。今後の住民説明とその結果が、計画の行方を左右することになる。

# 議案議決結果

## 【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件 案	
第 1 回 定 例 会	承認第1号	専決処分の承認(令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第8号))	
	議案第1号	令和7年度吉賀町水道事業会計補正予算(第2号)	
	議案第2号	令和7年度吉賀町病院事業会計補正予算(第3号)	
	議案第3号 ～第5号	令和7年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	ほか2件
	議案第7号	吉賀町過疎地域持続的発展計画の策定	
	議案第8号	請負契約の変更について(令和6年度林道滑峠線道路改良工事)	
	議案第9号 ～第18号 (第14号除く)	吉賀町非常勤特別職の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	ほか8件
	議案第19号	吉賀町電気自動車用急速充電器施設条例の廃止	
	議案第20号	吉賀町森林総合利用施設条例の廃止	
	議案第21号	令和8年度吉賀町水道事業会計予算	
	議案第22号	令和8年度吉賀町下水道事業会計予算	
	議案第23号	令和8年度吉賀町病院事業会計予算	
	議案第24号	令和8年度吉賀町興学資金基金特別会計予算	
	議案第27号	令和8年度吉賀町介護保険事業特別会計予算	
	議案第28号	令和8年度吉賀町小水力発電事業特別会計予算	
	議案第30号	令和7年度吉賀町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	議案第32号	請負契約の変更(令和7年度平田頭首工災害復旧工事(令和6年災101/87)(第1期))	
	議案第33号	請負契約の変更(令和7年度町道唐人屋線落石対策工事)	
	議案第34号	令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第11号)	
	同意第1号	吉賀町監査委員の選任	
発委第1号	吉賀町議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償支給条例の一部改正		

## 【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件 名	村上	新藤	菊次	藤升	澄川	山下	三浦	池下	河村由	桑原	庭田	
第 1 回 定 例 会	議案第6号	令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	●	
	議案第14号	吉賀町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
	議案第25号	令和8年度吉賀町国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第26号	令和8年度吉賀町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第29号	令和8年度吉賀町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
	議案第31号	令和7年度吉賀町一般会計補正予算(第10号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
	発議第2号	竹島の取り組み強化と特別措置法の制定を求める意見書(案)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

## 【賛成多数で可決した議案】

○：賛成 ●：反対

	議案番号	件 名	村上	新藤	菊次	藤升	澄川	山下	三浦	池下	河村由	桑原	庭田
定 第 1 回 会	発議第1号	憲法9条を守ることを求める意見書(案)	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●





山下達也

議員

### 外国人材と地域経済 官民連携



**問** 誘致企業では外国人労働者の生活課題が顕在化している。

通勤や住環境、食のミスマッチなど個別対応は限界で、企業側にも危機感が広がる。

町主導で商工会等と連携し、課題を一括して解決する官民連携の土台の構築を求めます。

**協議会活用で連携強化**

**町長** 既存の人材確保協議会を活用し、企業間の情報共有を進める。商工会等と協議し、円卓会議的な仕組みを構築する。

**組織改編と空白の1年**

**問** 組織改編の延期で窓口の分散や連携不足が懸念されるが、令和8年度はどこが所管して企業支援を進めるのか。

現体制で連携強化対応

**町長** 企画課と産業課の連携を強化し、現体制でも対応を進め、関係者と協議しながら、着実に取り組む。

**予算規模と組織の限界**

**問** 最大規模の予算が続く中、人員不足や組織の疲弊が進んでいる。

適正な執行のため、事業の見直しと資源配分の転換を求めます。

**事業見直しと財政運営**

**町長** 既存事業の見直しや選択と集中を進める。財政健全化計画に基づき、持続可能な運営に取り組む。



河村由美子

議員

### 行政改革と人材育成について



**問** 令和8年度一般会計当初予算で、将来への投資事業の具体性とまちづくりの基盤は人材育成と考える。

政策を推進するには、財政基盤の安定を図り、硬直化を招かないことが大前提である。

人口減少していく現状では、先見性を持った強力な政治的リーダーシップが必須だと考える。

どの分野に主眼を置いて予算編成をしたのか。人と共に生きる自立発展の町

**町長** 地方分権の進展や急速な社会情勢の変化に伴い、住民ニーズは多様化し、専門性も求められる中、ここ数年行政は人材不足にも直面している。

大きく変化していく行政課題に組織機構、人事適正化に向け組織全体の機構再編を行う。

**よしか病院の実態は**

**問** 建て替えと規模については、今後10年を目途に検討するという

ことであるが、現状、老朽化による各診療施設機能不良で医師、患者共に不便、不快感を与えている状況はいなめない。

今後も町内開業医院での一時救急の更なる構築を求めます。

**厳しい状況下**

**町長** 現下24時間救急には対応ができていないので、今後住民の健康福祉の問題解決に開業医院と共に全力で取り組む。

村上定陽

議員

### 町の実利確保を



**問** 令和8年第1回定例会の町長施政方針では、高規格道路の仮称『益田―岩国道路』の文言が消え、『その他広域路線』との表現に置き換わっている。

既に山口県側では事業開始となった一般国道9号の整備、開通区間の延長された山陰道の早期完成、益田―廿日市道路など当町を直接経由していない路線に重きを置いている。

地域医療の充実の観点からも、『益田―岩国道路』は、町にとって大変重要であり、令和7年度からスタートした広島広域都市圏の医療連携にも大きな影響を与えるものと考えます。

**協議を続けていく**

**町長** 『益田―岩国道路』の明記は、既に進めている国道9号線などに影響が出ることを懸念した意見もあり、その他広域路線との表現に変えた。

将来的な広域道路ネットワークのステップに繋げる為の第一歩であると理解をいただきたい。

広島広域都市圏での医療連携は様々な方面から深堀に対応し、担当課で協議していきたい。

### 三浦浩明

議員



#### 空き施設の利活用は

**問** 数年前より公的施設をはじめ町内主要の空き施設において改修等の課題がある。

病院関連では、医師住宅等の数か所は改修により新たに運営されている施設もあるが、空き家状態の寮施設が数棟ある。

今後経年劣化等の悪影響も考えられるが、計画と進捗状況は。

学校関連では、統廃合や利活用等の課題の背景には人口減少・少子化問題があり、将来を見据えた「まちづくり計画」の具体化が必ずである。

#### 協議し結論を出す

**町長** 病院関連については、有飯の8棟は医療介護従事者住宅として運用しており、旧ゲ

ストハウスはよしか診療所として活用されている。

旧六日市病院寮4棟のうち2棟は町内企業へ貸し付けており、残り2棟は活用案の募集等を行う。

七日市地区の旧六日市学園寮1棟は町内企業へ貸し付けている。旧エムテラスは、土地と建物の購入を進めるための基礎を作っていく。

学校関連は、吉賀町教育振興計画第2期において小学校は原則すべてを存続させる。中学校は存続に努めるが、極小規模校については、学校、保護者、地域、行政が協議を重ね結論を出す。

### 新藤吉郎

議員



#### 町有林の利活用

**問** 吉賀町における森林面積は、町全体の92%を占めており、そのうち、約900ヘクタールが町有林である。

また、かなりのスギ、ヒノキといった人工林は林道に面している。

このことを踏まえ、町有林を50年サイクルで経済林として活用していく考えはないか。

その際に出た端材などでバイオマス燃料としての利用方法はないのか。

#### これからの森林整備

**町長** 株式会社「森の環」を、町と共同出資をして設立したところである。

開設して日が浅く、現在は町有林での搬出間伐を中心に事業を進めている。

地域おこし協力隊の育成も併せて行いながらの事業展開であることから、現時点では大規模な事業を実施している状況ではない。

しかし、育成した協力隊員が増えており、作業体制の充実が図られれば、今後の事業量の拡大や町有林での積極的な活動が進んでいくことを大いに期待している。

「森の環」のみに限定して森林調整を行うものではなく、その他の林業事業体とも協力して森林整備を進めることが重要だと考えている。

木質バイオマスについては、まきやチップなどの燃料利用の促進をしながら、二酸化炭素削減効果を期待している。

### 菊次弥生

議員



#### 吉賀町地域医療体制は

**問** 全国的な人口減少に伴い、医療資源を地域内で有効に活用する持続可能な医療提供を確立するため、各都道府県において地域医療構想を策定し、島根県でも医療体制の見直しが行われている。

これらを踏まえ、よしか病院の現在の病床・外来機能、救急医療の取り組みは。

また、「吉賀町の地域と医療をつなぐ会」とは。

#### 地域の医療と生活を支える取り組み

**町長** よしか病院が有する一般病床50床は、急性期治療を終えた患者に対し、在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する回復期機能を担う。

この度「つながるカフェ Y o s h i k a」も開設された。

外来は、特定の臓器や疾患など病気の種類を問わず、5名の常勤医師が総合診療医として包括的に診療を行う。受診する患者の多くが高齢者であり、複数の慢性疾患を同時に抱えるため、幅広く診療できることが重要である。

初期救急対応をはじめ、訪問診療や巡回診療等の在宅医療体制を整備し、地域での生活を支える取り組みを進めている。

「吉賀町の地域と医療をつなぐ会」は、住民自ら地域医療について学び、守り、育てる対話の場として医療と福祉、行政をつないでくれている。

この度「つながるカフェ Y o s h i k a」も開設された。

## 庭田 英明

議員

### 齋藤一通氏を名譽町民に



**問** 中国自動車道のICがなければ吉賀町の今の発展はなかったと想像できる。

誘致に政治生命を賭けて町の礎を作った功績に対して、名譽町民として表彰し、最大の感謝を表すべきである。

考えていない

**町長** 故人の功績は評価しているが、名譽町民とすることは考えていない。

顕彰しないことが功績を否定するものではないと考えている。

### 建設発言の責任は

**問** よしか病院の新設を10年後に計画している。

10年も先の建設を本当に町民に約束できるのか。

覚悟を示した

**町長** 建設は私の任期後となるので責任を持って約束はできない。

覚悟を示したものである。

### 既存施設の活用を

**再質問** いまだに活用されていない「高津川てらす」に病院、庁舎、学校など公共施設を集約して新しい町の姿を描く大胆な発想も必要である。

場所はすでに決定

**町長** 病院の建設場所は「地域医療協議会」で六日市エリア内に決定している。

まずは、この決定を尊重しなければならぬと考えている。

## 澄川 浩一

議員

### 透析医療の現状と課題は



**問** 町内の透析医療について、患者の通院距離・時間・交通費負担の実態把握と支援のあり方は。

特に週3回の通院は本人・家族双方に大きな負担であり、ガソリン代等燃料費だけでなく車両維持費も含めた実態の認識が必要である。

透析医療今後の対策は

**町長** 町内透析患者は主に益田赤十字病院へ週3回通院し、最長で片道約58km、約1時間10分を要する。

交通費助成は公共交通基準で算定し概ね実費相当だが、負担の実情は認識している。災害時は「個別避難支援計画」に基づき、除雪や代替ルート対応を行う搬送体制や広域連携も検討している。

加えて、大雪や豪雨時における通院確保のため、除雪の優先対応や代替ルートの確保、医療機関との連携や搬送体制の整備など具体策を求める。

さらに将来の患者増加を見据え、健診受診率向上や生活習慣改善による予防強化、在宅透析導入の可能性について町の考えは。

今後は透析患者支援に向けた制度設計を進め、令和8年度中の補正予算での対応を目指す。

## 桑原 三平

議員

### 国有林野資材の利活用は



**問** 国有林野における森林整備事業は事業体の数も少なく、町内に常駐していた森林官もおらず、事業が衰退している。

高津川の最上流部に位置する国有林野の整備は非常に大切な事業で、国が管理するものであり、国の財源で事業を行うべきである。

しかし、近年は森林管理職員の配置がなく、事業量も減少していると聞いている。

国有林野は、水源涵養や国土保全などの観点からも重要であり、治山事業等の確実な実施、地域の安全安心を守る上で欠かせないものと認識している。

このことについて、町長以下担当職員は、林野庁ほか関連省庁に対し要望活動すべきである。

安心安全を守る上で

欠かせない

**町長** 本町の国有林野は、県内で最も面積が広く、かつては森林整備や治山事業が盛んに行われていた経緯がある。

今後、国有林野の適切な整備と必要な事業量の確保を、林野庁をはじめ関係機関に対し、積極的に事務活動をしていきたいと考える。

池下 弘幸

議員



### 企画課の役割について

問 まちづくりにおいて重要な「第2期吉賀町総合戦略」の評価検証が行われていない。

このことは、適正な予算編成がでない。

町の将来像が形骸化し目標にたどり着けない。

住民への説明責任が果たせない。

などの重大な問題を起こすと考える。

現在の企画課は多種多様な業務を抱え、「吉賀町総合戦略」などの政策の管理が困難な状態である。

役場組織の機能を再編し、令和9年度から施行されるとの説明を受けたが、企画課を見ると、十分ではないと感じる。

企画課が「町の頭脳」

として政策管理という本来の業務ができるよう、再度の検討を求める。

#### 協議し検討する

町長 企画課は、町全体の計画、施策のかじ取り役であることは間違いない。

十分機能できるように検討していきたい。さらに、意思決定のスピード感も必要である。

全体の長期計画の調整は企画課になると考える。このことを踏まえ引き続き協議していきたい。



役場本庁舎

藤升 正夫

議員



### 指定管理による運営の問題点は

問 改修後の旧蔵木中学校の運営を、指定管理によることも選択肢としてあるが、問題はなにか。

現在の蔵木公民館は、建築が1972年で53年経過しており、冬になると粉雪が吹き込む状態である。

施設の保全計画の基本的な方針は、用途廃止を検討とされており、旧蔵木中学校を教育委員会の提案どおりに事業を進めると、改修費が1億8千万円見込まれている。

床面積が広いと、自費で維持費が多くなる。改修する代わりに、新たに公民館を建設することも含めた検討も必要と考える。

床面積が広いと、自費で維持費が多くなる。改修する代わりに、新たに公民館を建設することも含めた検討も必要と考える。

#### 蔵木公民館の移転は喫緊の課題

#### 教育長 利用料収入

だけで管理運営を出来るとは考えていない。指定管理料として一定の公費投入も想定している。

地域との協議に関しては、いろいろな選択肢を含めた意見をいただき進める。

公民館を旧蔵木中学校に設置し、併せて利活用を考える。

また、新築を含めた検討もしたい。

公表されている改修費は、最大の数字で、減額も想定される。

体育館の使用も含め、地域の方と丁寧に協議を積み重ねていきたいと考えている。

## 発議

(※議員が提出した議案)

### 《発議第1号》 提出者：藤升 正夫

憲法9条を守ることを求める意見書(案)

#### 賛成討論 藤升議員

米国がホルムズ海峡への艦船派遣を求めた際、日本は憲法第9条の制約を理由に自衛隊派遣を見送られたとされる。

憲法第9条に自衛隊を明記しない現行の枠組みを踏まえ、その趣旨を尊重し、これを改めることなく平和な環境を維持することが、今の政治に求められている。

賛成少数により否決

### 《発議第2号》 提出者：村上 定陽

竹島の取り組み強化と特別措置法の制定を求める意見書(案)

#### 反対討論 藤升議員

竹島問題の解決には、日本と韓国が同じテーブルにつき、歴史的事実を明らかにした上で、相互の立場や主張について丁寧に議論を重ねることが重要である。

しかしながら、本意見書の内容のままでは、両者が平行線をたどる現状を打開することは困難であるため。

賛成多数により可決

# 吉高生が本音で語る！ 私たちの町と「初めての一票」

「議会って何をしてるの？」——そんな吉賀高校の皆さんの率直な声を受け止め、全校アンケートと卒業生への意識調査を実施しました。

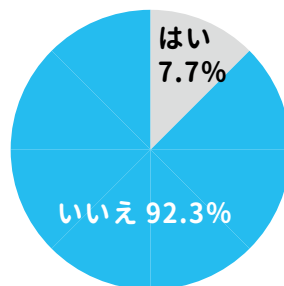
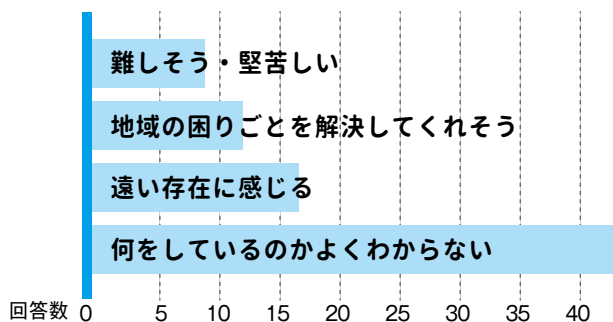
次世代を担う若者の目に映る吉賀町の今と、18歳のリアルな選挙体験をお届けします。

## 議会とのキョリ感

全校アンケート N=78

議会・議員に対するイメージ

「議会だより」を読んだことがありますか？



多くの生徒が議会に対して「わからない」「遠い」と感じている一方で、「地域の課題を解決してくれそう」といった期待の声も寄せられました。議会として、より分かりやすく伝える工夫が求められています。

## ここが変わればいいのに！



放課後に友達と  
集まれる場所が  
ほしい



街灯が少なく、  
夜道が暗くて不安

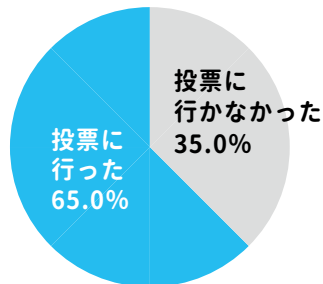
休日のバスが  
少なく不便

日々の生活に関わる切実な声が多く寄せられました。これらの声は、町づくりを考える上での重要なヒントとなります。

## 18歳、初めての選挙

18歳有権者の投票率（卒業直前アンケート有権者 N=20）

吉賀高校3年生のうち、約65%が投票に参加しました。  
初めての選挙でありながら、多くの若者が一歩を踏み出しています。



### 投票して感じたこと

- ・投票することで大人の仲間入りを実感した
- ・投票所が静かで入りやすかった
- ・誰に入れるか迷った

初めての経験ならではの戸惑いと達成感が見られました。

### 議会からのメッセージ

若者の声には、これからの町づくりのヒントが多く含まれています。議会としても、その声を受け止め、より身近で開かれた議会を目指していきます。

## 吉賀町商工会理事との

### 意見交換会

令和8年2月12日、吉賀町商工会理事の皆様と商工業振興に係る意見交換を行いました。

例年は経済常任委員会で実施しておりますが、今回は、昨年の議会改選を踏まえ、全議員参加で開催されました。

当日はインフルエンザの流行により、商工会理事の半数以上が欠席となりましたが、活発な意見交換が行われました。

最後に、経済常任委員長より、今後も意見交換会を継続し、関係者が危機感を共有しながら課題解決に取り組む、共に町の発展に寄与していくことが確認され、閉会しました。



吉賀町商工会理事との意見交換会

## 全議員研修

令和8年2月5日に『地域の存続・活性化と高校魅力化…何が問われるか』と題し、関西国際大学教授・青山学院大学名誉教授の樋田大二郎先生による研修会を行いました。

研修では、地域と高校魅力化の関わりについて、具体的な事例を交えた講義が行われました。

講義終盤には、見学に来られていた大学生も加わり、高校魅力化や中高一貫教育の方針をテーマに意見交換が行われ、活発で有意義な研修となりました。

研修を通じて、高校の存続に向けては、地域だけでなく町全体が学校や教員と十分に意思疎通を図り、連携して取り組むことの重要性を改めて認識しました。



吉賀町議会全議員研修会

## 編集後記

選挙を経て議員として活動する中で、私にとっても今が初めての当初予算の審議となりました。

補正予算、当初予算ともに様々な議論が行われ、賛否が分かれる場面もありました。

議論の場に立つ中で、一つひとつの判断に伴う責任の重さと、議会の役割の大切さを改めて感じています。

また、表紙や特集についても、より多くの方に手に取っていただけるよう工夫を重ね、広報として「伝える」こと、そして「つないでいく」ことの大切さを意識しながら取り組んでいます。本紙を通じて、議会でもどのような議論が行われているのか、その一端でも伝われば幸いです。

山下 達也

## 今月の表紙

### 七日市小学校 100年桜

令和7年度において、2本あった桜のうち1本が、倒木の危険性から地域の理解のもと伐採されました。

残された1本は、今年も変わらず、この場所に春を届けています。

## 吉賀町議会だより よしか

Vol. 77

《発行》2026(令和8)年4月25日

### 広報広聴常任委員会

委員長／山下 達也

副委員長／澄川 浩一

委員／村上 定陽・新藤 吉郎・菊次 弥生

桑原 三平・庭田 英明